

日本におけるシロビタイジョウビタキの初記録

平野賢次¹・橘 映州²

1. 〒920-0055 石川県金沢市北町丁47-2

2. 〒921-8133 石川県金沢市四十万157

シロビタイジョウビタキ *Phoenicurus phoenicurus* は、アフリカ北部・ヨーロッパからバイカル湖に至るユーラシア北西部で繁殖し、冬期はアフリカ中部・アラビア半島・アフガニスタン・イランに渡る（五百沢 2000）。

1998年11月1日、石川県輪島市海士町舳倉島（37°50'N, 136°55'E）において、シロビタイジョウビタキの雄1羽が高瀬久義氏によって発見され、その後11月4日まで多くの人に観察・撮影された（高瀬 1999, 橘 1999, 日本野鳥の会石川支部 1999）。この記録が本種の日本初記録と思われるのでここに報告する。

本個体は、クロマツ、ニセアカシア、グミからなる雑木林のある草地で、グミなどの低木の枝に止まり、地上へ降りては採餌をした。尾を上下に振動することが多く、時にはテッテッ、あるいはビィッビィッと警戒音を発した。林内には直線的に入った。

本個体はジョウビタキ *P. aureus* とほぼ同じ大きさであり、体型や姿勢もジョウビタキとよく似ていた。顔は黒く、額と肩にあたる部分が白い。頭上から背は灰褐色で、胸から脇



図1. 舳倉島で観察されたシロビタイジョウビタキ（撮影：橘映州）
Fig. 1. A Common Redstart observed on Hegura Island.

2001年12月11日 受理

キーワード：シロビタイジョウビタキ, 日本初記録, 舳倉島

は栗色であった。上尾筒は栗色で、下尾筒は褐色味を帯びたバフ色に見えた。尾羽は中央2枚だけが黒褐色で他は栗色だった。嘴は黒色で、脚および目の色は黒っぽく見えた(図1)。以上の所見は本個体がシロビタイジョウビタキの雄であることを示す。シロビタイジョウビタキに最も類似している種はクロジョウビタキ *P. ochruros* であるが、クロジョウビタキの雄は頭上から背中にかけて黒く、下面の黒色部分は上の胸まで達すること (Jonsson 1992) から、本個体がクロジョウビタキの雄ではないことは明らかである。また、ジョウビタキの雄成鳥は頭部が灰白色で翼に白斑があること (高野 1982) から、シロビタイジョウビタキとは容易に区別できる。また、本個体では大雨覆と初列雨覆がすべて青灰色の羽毛であり、褐色の幼羽を残していないように見えることと、第1回冬羽の特徴 (山階 1941) である上面の羽毛先の褐色が少ないことにより、本個体はシロビタイジョウビタキの成鳥冬羽であると判断された。

亜種に関しては、シロビタイジョウビタキは2または3亜種に分けられる (Howard & Moore 1991, Mayr & Paynter 1964, Vaurie 1959)。3亜種に区分している Howard & Moore (1991) によると、亜種 *algeriensis* はイベリア半島と北西アフリカに生息するとしているので、分布の上から考えて該当しない。また、亜種 *samamiscus* は小アジアからコーカサス、イランにかけて分布する亜種で、この亜種の雄は三列風切と次列風切の外弁の羽縁が白く、たまただ翼にジョウビタキより大きい白色部が出る (Porter *et al.* 1996)。したがって観察された個体とは形態が異なっている。亜種 *phoenicurus* は、ヨーロッパから西部シベリアを経てバイカル湖畔にいたる間で繁殖する (山階 1941)。今回観察した個体は、形態が山階 (1941) の本亜種の記述とよく合致することと分布から考えて、亜種 *phoenicurus* であると判断される。

シロビタイジョウビタキは、1929年10月27日に千島宇志知島にて亜種 *phoenicurus* の雌1羽が採集されている (山階 1941) が、本邦では本種に関する報告はなく、この個体が日本初記録と思われる。

引用文献

- Howard, R. & Moore, A. 1991. A Complete Checklist of the Birds of the World. 2nd ed. Academic Press, London.
- 五百沢日丸. 2000. 日本の鳥550山野の鳥. 文一総合出版, 東京.
- Jonsson, L. 1992. Birds of Europe with North Africa and the Middle East. Christopher Helm, London.
- Mayr, E. & Paynter, R.A. (eds). 1964. Check-list of Birds of the World Vol.X. Museum of Comparative Zoology, Cambridge, Massachusetts.
- 日本野鳥の会石川支部. 1999. 石川野鳥年鑑1998. 日本野鳥の会石川支部, 金沢.
- Porter, R.F., Christensen, S & Schiermacker-Hansen, P. 1996. Field Guide to the Birds of the Middle East. T. & A.D. Poyser, London.

- 橋映州. 1999. 船倉の鳥たち. 橋本確文堂, 金沢.
- 高野伸二. 1982. フィールドガイド日本の野鳥. 日本野鳥の会, 東京.
- 高瀬久義. 1999. シロビタイジョウビタキとの出会い. *Birder* 13(8): 73.
- Vaurie, C. 1959. *The Birds of the Palearctic Fauna. Order Passeriformes.* HF & G Witherby Limited, London.
- 山階芳麿. 1941. 日本の鳥類と其生態第二巻. 岩波書店, 東京.

The first record of the Common Redstart in Japan

Kenji Hirano¹ & Eishu Tachibana²

Kita-machi tei 47-2, Kanazawa, Ishikawa 920-0055, Japan

Shijima-machi i 157, Kanazawa, Ishikawa 921-8133, Japan

On 1 November 1998, an adult male Common Redstart *Phoenicurus phoenicurus* was observed and photographed on Hegura Island, Ishikawa Prefecture. This is the first record of this species in Japan.

Key words: first record in Japan, Hegura Island, *Phoenicurus phoenicurus*